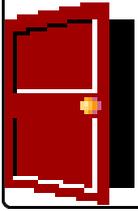


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

No. 6

桑村小学校令和5年4月26日 文責 渡邊

読書通信NO. 5では、「詩」の読書推せん文の4年生と5年生の作品を紹介しました。今回も、5年生の作品の続きを紹介します。

第5学年 石川 匠さん

紹介したい詩 作者 工藤 直子

「おまじない みみず みつお」

こわいときとなえる おまじないがある

じぶんにむかってこういうんだ

「おい、ぼくよ ぼくがいるからだいじょうぶ ぼくがいるからだいじょうぶ」

すると ぼくがふたりいるみたいで げんきになる

## ◆推せん文

すすめたい相手(気持ちをリラックスしたい人へ)

初めてこの詩を読んだら、意味がすぐに分かり、とてもいい詩だと思いました。この詩でいいと思ったところは二つあります。一つは、「ぼくがいるからだいじょうぶ」のところですか。なぜなら、心の中の自分が自分にやさしくしている感じだと思ったからです。

もう一つは、「ぼくがふたりいるみたいでげんきになる」のところですか。なぜなら自分の他に心の中にも自分がいると感じたからです。いやなときやこわいとき、きんちょうするときなどにこの詩を思い出してみてください。するとリラックスできると思います。ぜひやってみてください。

※素敵な詩を紹介してくれてありがとうございます。推せん文を読んだとき、匠さんの豊かな感性を感じることができました。こわく感じる場面はこれからもたくさんあることでしょうか。そうした時、おまじないが役に立ちそうですね！

第5学年 星 希心さん

紹介したい詩 作者 小泉 周二

「水平線」

水平線がある 一直線にある ゆれているはずなのに 一直線にある

水平線がある はっきりとある 空とはちがうぞと はっきりとある

水平線がある どこまでもある 本当の強さみたいに どこまでもある

## ◆推せん文

すすめたい相手(桑っ子のみんなへ)

はじめてこの詩を読んだとき、本当の水平線があるようでした。水平線をわたしは見ることがないけれど、この詩からは水平線の強さがどういうものかを考えました。そして、桑村小学校の友達「桑っ子」があきらめずに一人一人が努力しているすがたをイメージしました。だから、これからも「桑っ子」たちが、どんなことにも努力していろいろなことにチャレンジしてほしいと思いました。

※詩から感じ取った希心さんのイメージの豊かさに感心させられました。とてもすばらしい感性ですね。これからのいろいろなことにチャレンジしていきましょうね！

第5学年 大熊きよなさん  
紹介したい詩 作者 まど みちお  
「今日」

きがつくと今日をむかえている  
そして当たり前顔でその中にいて  
いつのまにかその今日をおくりだしている  
くる日も くる日も  
今日の中にいて思うのは  
明日のこと昨日のことだが  
その明日にも昨日にも出会うことはない  
出会えないからこそ思うのだろうか  
たしかにあるのは今日だけなのか  
今日こそ昨日であり明日でもあるのか  
今日こそ生きてさわれる全部なのか  
今日こそこれしかない一生なのだ

◆推せん文

すすめたい相手(今日の大切さを知りたい人へ)

私は有名なまどみちおさんの詩をえらびました。この詩で一番いいなと思うところは「いつのまにかその今日をおくりだしている」のところですね。理由は、昨日だと思ったのに今日がおくれていて、今日を大切にしなければならないことを強く思いました。久しぶりに詩を読んで、作者がどういうことを伝えているのかを自分なりに考えてまとめることができました。また、詩のおもしろさを感じることもできました。また、読みたいです。

※詩を読んで、そこからどのような感想をもつのかは人によって違います。きよなさんの感想と校長先生の感想が違うように。でも、どういう思いをもったのかを知ることは自分の感性を広げる上で大切な学びとなります。きよなさんの推せん文は校長先生のイメージを広げる大切なものとなりました。ありがとうございます！

第5学年 飯塚 大晴さん  
紹介したい詩 作者 まど みちお  
「ぼくが ここに」

ぼくがここにいるとき ほかのどんなものも  
ぼくにかさなって ここにいることはできない  
もしもゾウがここにいるならば そのゾウだけ  
マメがいるならば その一つぶのマメだけしか  
ここにいることはできない  
ああ このちきゅうのうえでは こんなにだいにまもられているのだ  
どんなものが どんなところにいるときにも  
その「いること」こそが なににもましてすばらしいこととして

◆推せん文

すすめたい相手(クラスみんなへ)

1年間の自分たちの成長をふり返る会で、みんなで協力してたくさん練習してうまく読めるようになったことをおぼえています。

※4年生のときの学習が強く心に残っていることが伺えます。「ぼくがここに」は温かな詩です。5年生の友達もきっと大切にしていることと思います。